

## 総務消防委員会 意見交換会実施状況

### 1. 日 時

平成 28 年 11 月 18 日 午後 7 時 00 分～午後 8 時 45 分

### 2. 開催場所

勤労福祉センター 1 階大ホール

### 3. 出席議員

若谷委員長，鳥飼副委員長，脇委員，出田委員，  
松成委員，吉田委員，大前委員

### 4. 対象団体

市内自主防災組織 44 団体 73 名

### 5. 実施内容

鳥飼副委員長の司会で開会し，若谷委員長の挨拶，各委員の紹介の後に，確認の意味合いも込めて本市自主防災組織の現状と補助制度についての説明を行った。

続いて，久米町西連合防災協会（久米町）及び東山自主防災会（川津町）より積極的な取り組み事例を紹介していただき，これを導入として資機材の整備，定期的な活動をやっていくために必要なことなどに主眼を置いて意見交換に入った。

最初に，自主防災組織の中でいくつかのグループに分け，近所のつながりを大切にしつつ試行錯誤しながら取り組んでいるものの，組織活動の活性化に苦慮しているとの意見が出され，それに対し他の自主防災組織の代表者から，自分のことは自分で守ることを大前提とし，その中で体が不自由で自力で避難の難しい人へ目を向けた避難訓練などを普段から気を使いながらやっていく必要があること，また，自主防災組織内で避難行動時のグループ分けをし，そのグループにおけるリーダーを指名しているが，自主防災組織に入れない消防団員や自衛隊員，警察官等以外でお願いしている状況であるものの，そういった形で任せていくうちに，それぞれが責任を持ち率先してやっていこうとする機運が高まりつつあるとの紹介があった。

また、他の自主防災組織からの参加者からは、周辺地域の自主防災の活動はまだまだ活発ではなく、世代を超えて取り組んでいく必要性を感じており、特に若者を中心に子供やその親を巻き込みながら呼びかけていくことが重要であるとの意見が出された。

その後、各自主防災組織からの参加者からは、行政や議会がリーダーシップをとった方が市全体の活動が円滑になるとの意見や避難訓練に役立つようなマニュアルや初歩的な入門書が必要ではないかとの意見が出された。また、自主防災とは直接関連はないものの、災害対策用物資の備蓄に関する意見や市内全域における防災訓練の実施を求める意見などが出された。

最後に、若谷委員長より、「大変貴重な意見をいただき感謝する。自主防災の個々の活動の活性化を図り、よく言われているが『3日間 72時間は、地域、家族で命を守る』のが重要であると考えます。市としてできること、やらなければならないこと、そして自主防災のみなさんに活発にやっていただきたいことが今日キーワードとして出てきたと思うので、ぜひとも持ち帰っていただいて取り組みにつなげていただきたい。」との挨拶があり、意見交換会を閉会した。